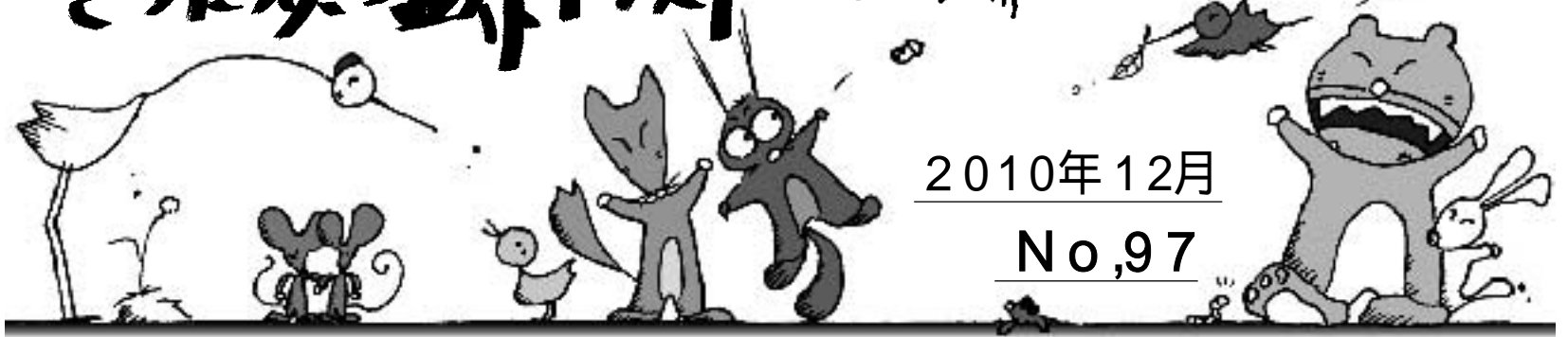


# きつぷ湿原トラス

この湿原をこどもたちへ



2010年12月

No.97

## い・る・ど・り 厳しい寒さの中

寒さが厳しくなってくると気持ちが高揚し、撮影に出掛けるのが楽しみになります。樹氷やダイヤモンドダストなど厳冬期の北海道ならではの綺麗な景色が広がり、撮影はもちろん直に自分の目でその風景を見る事ができるからです。

写真展で厳冬期の作品を見た方に撮影時の気温がマイナス20度近くであることを説明すると大多数の方が「寒くないですか?」「つらくないの?」と質問をしてくる。基本的に誰もいない場所で一人撮影をしているので、見た目のファッション(服装)は気にしていません。防寒具を何枚も重ね着をしている為に恐らく遠くから見るとお相撲さんのようなシルエットになっていると思います。最近は発熱する下着など大変便利なものが出てきたお陰で少しはスリムになりました。

目の前に広がる素晴らしい景色に夢中になり、時には日の出前からお昼近くまで時間を忘れて撮影をしている事もあります。実は厳冬期よりも1月ぐらいで寒さが増してきた頃のマイナス5度前後の方が一番寒く感じられます。心身ともにまだ寒さに対応しておらず、油断しきっているので大変つらいです。

寒さ厳しい冬があるからこそ暖かい春が待ち遠しいものです。

釧路市在住 写真家  
秋元 亮太



## 陽だまり 浜中誕生のひみつ発見! ジオツアー

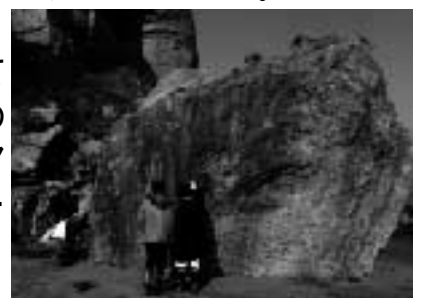
1月7日に「浜中誕生のひみつ発見! ジオツアー」が開催されました。ジオとは地球を意味しており、ジオツアーは石や地層から地形の成り立ちや未来の様子を考えるツアーのことをいいます。当日は1月にしては珍しいくらい暖かな日となり、道外からも多くの方が参加してくださいました。

4名の講師を招き湿原センターで講義を受けた後、浜中の採石場 榊町海岸 霧多布湿原 厚岸というコースを回り、各ポイントで石や地層、地滑りの跡を観察しました。

普段は何気なく見ている石も、専門家の方にお話を伺いながら改めて見てみると奥が深い物なのだと感じました。それを一番感じさせられた瞬間は、参加者の方々が嬉しそうに石を持ち帰る姿を見た時でした。

初めは(こんなどこにでもある石を持って帰るなんて...)と思っていましたが、説明を聞くうちに皆さんが興奮する理由がわったような気がします。昆布干場に敷かれている石は皆さんよく目にしていると思いますが名前をご存じですか? その石は「モンゾニ岩」という種類の石で、磁石を近づけるとわずかですが、くっつくのです。そしてその石は6500万年前の地層から採られているものだそうです。このように毎日見ているものでも知らないことがたくさんあります。

石一つ一つは小さくても、その背景や未来を想像していくと、とてもスケールの大きな話となる「ジオツアー」はとても楽しいツアーとなりました。(みよ)



## はまなかグルメ 第32品 ~和風ボンゴレ~

レシピ提供  
ペンションポーチ 瓜田 民子さん

この和風ボンゴレスパゲッティーは、昆布や梅が入ってサッパリと、でもあさりのだしがきいて、とてもおいしい1品です。材料も身近なものでできるので、ご家庭で作るのにピッタリ。ぜひお試しください。

(美奈)



### 材料(2人分)

- スパゲッティー: 180g
- 殻付きあさり: 15~20粒くらい
- 酒: 50cc
- しめじ: 1/2パック
- ネギ: 1/2本
- A {バター・サラダ油: 各小1~2}
- B {白だし: 大1~大1 1/2  
塩: 少々}
- C {サラダ昆布・カリカリ梅  
細ネギ・野菜の素揚げ、など}

### 作り方

アサリは酒蒸しにし、トッピング用に6個くらい取り分け、残りは身を取る。ネギはななめ切り、しめじはほぐす。フライパンを熱しAで炒める。ゆでたスパゲッティーをBに入れ、あさりのむき身、蒸し汁大さじ1を入れてからめ、Bで味を調える。殻付きあさりとお好みでCを散らす。